

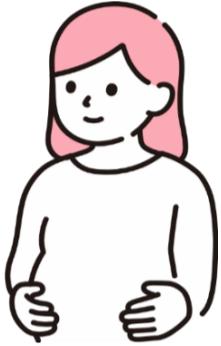


RSウイルスワクチン を接種しましょう

生まれてくる赤ちゃんのために

令和8年4月1日から、RSウイルスワクチンが定期予防接種となりました。
妊娠中に接種することで、お母さんがつくった抗体が赤ちゃんに移り、生まれてすぐから生後6か月ごろまで、RSウイルス感染症による重症化を予防する効果が期待できます。

RSウイルスワクチンは
生まれてくる赤ちゃんへ
お母さんからの
最初の贈り物です。



RSウイルス 感染症とは？

RSウイルスは、2歳までにほぼ100%の子どもは一度は感染するといわれる、非常に身近なウイルスです。大人にはただの風邪でも、赤ちゃんが感染すると、肺炎などで入院が必要になることがあります。RSウイルスには特効薬がないため、ワクチン接種による予防が重要です。

定期接種対象者

豊中市に住民登録がある
妊娠28週～36週の妊婦
(妊娠28週0日～36週6日まで)

接種ワクチン

**組換えRSウイルスワクチン
(アブリスボ筋注)**

※母子免疫ワクチン:お母さんが接種することで、
赤ちゃんに抗体が移ります。

接種費用

無料

※対象の週数以外で接種した場合は
全額自費となります。

接種回数

妊娠中に1回、筋肉内注射

※過去の妊娠で接種したことがある場合
でも、接種できます。

接種方法

豊中市内の定期接種取扱医療機関へ予約をして接種してください。
妊婦健診と一緒に接種することもできます。
(事前に医療機関へご確認ください)

持ち物

親子健康手帳(母子健康手帳)、本人確認書類(マイナンバーカード等)
※「予防接種予診票」は市内取扱医療機関に設置しています。

※豊中市外の医療機関で接種する場合は裏面参照

裏面へ

注意事項

- ▶ 妊娠高血圧症候群にかかったことがある人やリスクが高いと医師から言われている人は、接種の際に注意が必要です。接種時には必ずかかりつけ医と相談してください。
- ▶ RSウイルス感染症にかかったことがある人も接種できます。
- ▶ 書類の発行申込や問合せについては、保健所(中桜塚)でのみ受付しています。市役所・出張所・保健センターでは受付していませんのでご注意ください。

豊中市ホームページ
(医療機関一覧はこちら)

豊中市 RSウイルスワクチン 🔍



お問合せ

豊中市保健所 健康危機対策課 ワクチン係

豊中市中桜塚4-11-1 豊中市保健所1階 3番窓口
TEL:06-6152-7329 FAX:06-6152-7328

接種する医療機関による事前手続き・予診票について

【接種する医療機関】

【事前手続きについて】

【予診票について】

①

豊中市
の定期接種取扱医療機関

事前の手続きは**不要**です。
無料で接種ができます。

接種する際に記載する「予診票」は、
各医療機関に設置しています。

②

**吹田市・箕面市・池田市
摂津市・茨木市・豊能町
能勢町・島本町**
の定期接種取扱医療機関

市外で接種するための手続き
は**不要**ですが、**予診票の発行
手続きが必要**です。
豊中市民用の予診票を持参し、
無料で接種ができます。

②の医療機関では、豊中市民用の
「予診票」の設置がありません。
**お申込により発行(郵送)しますので、
接種前に下記のいずれかの方法で
お申込ください。**
・市担当(06-6152-7329)へ電話
・電子申込にて申込
・市保健所窓口にて受取り

③

**①②以外の医療機関
(里帰り先など)**

事前に「**予防接種市外実施依頼書**」
の発行手続きが**必要**です。

必ず**接種前**に、市担当(06-6152-7329)
までご連絡いただくか、電子申込にてお申
込ください。

接種時に依頼書を医療機関へ提出し、**一旦
全額お支払いの上、後日還付の手続き**とな
ります。(還付金額に上限あり)

接種する際に記載する「予診票」は
市外実施依頼書の発行時にお渡しします。

▶「予診票の発行」及び「予防接種市外実施依頼書」の申込について

発行場所	豊中市保健所 健康危機対策課 ワクチン係 〒561-0881 豊中市中桜塚4-11-1 電話 06-6152-7329 FAX 06-6152-7328 平日9:00~17:15 (12/29~1/3を除く)
注意事項	※必ず 接種前 に申込してください。 ※申込は 市保健所(中桜塚4-11-1) でのみ受付しています。 市役所、出張所、保健センター では受付しておりませんのでご注意ください。 ※市外実施依頼書の申込書は、市ホームページ(ページ下部参照)にも掲載しています。 様式をダウンロードのうえ、郵送での手続きも可能です。

電子申込はこちら

RSウイルスワクチン
予診票・市外実施依頼書発行手続き



接種の前にお読みください

▶接種時期について

- 必ず妊娠28週0日~36週6日の間に接種してください。**妊娠24週0日~27週6日の間に接種する場合は、任意接種となり、全額自己負担となります。(妊娠23週以前、妊娠37週以降は医薬品上接種できません)**
- 出産の14日前までに接種することが望ましいとされています。**妊娠38週6日までに出産を予定している場合等は、その14日前までに接種できるよう、医師とご相談ください。**(定期接種の対象週数の間であれば、やむを得ない状況により出生前14日以内に接種した場合でも、定期接種の対象とすることは可能です)

▶他のワクチンとの同時接種について

- 他のワクチンとの接種間隔の規定はなく、医師が必要と認めた場合は同時接種も可能です。
- 三種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風)ワクチンについては、RSウイルスワクチンとの同時接種により、百日せき菌の抗原に対する抗体反応が低下するとの報告があるため、接種間隔等については医師と相談してください。

▶接種時の注意事項について

- 37.5度以上の明らかな発熱がある場合は接種できません。
- 接種によって妊娠高血圧症候群の発症リスクが上がるという報告もあるため、**妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと医師に診断された人や、今までに妊娠高血圧症候群と診断された人は接種の際にかかりつけ医・接種医とよく相談してください。**

▶副反応について

- 主な副反応は、注射した部分の痛み・赤み・腫れ、頭痛、関節や筋肉の痛み、発疹、蕁麻疹等があります。
- 頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシーがみられることがあります。
- 接種後気になる症状を認めた場合は、接種医またはかかりつけ医にご相談ください。
- この予防接種により、重篤な健康被害が生じた場合は、救済制度があります。その健康被害が予防接種によって引き起こされたものと国が認定した場合に補償を受けることができます。

予防接種健康被害救済制度
について詳しくはこちら→



豊中市ホームページ
(医療機関一覧はこちら)

豊中市 RSウイルスワクチン

<問合せ先>

豊中市保健所 健康危機対策課 ワクチン係

〒561-0881 豊中市中桜塚4-11-1

電話:06-6152-7329 FAX:06-6152-7328